

8-4-25 設計ソフトウェア連絡WG

1. 主な活動の記録

(1) 組織

道路構造物専門委員会 4 名、道路専門委員会 1 名、河川構造物専門委員会 1 名より構成。

(2) 「既存設計用ソフトウェアのアンケート」の整理・分析

設計ソフトウェア連絡 WG は、エラー防止対策の一環として、ソフトウェアの提供者であるソフトウェア会社(ベンダー)とそれを利用する建設コンサルタントが、相互に抱える課題を認識・共有し、双方成果(ソフトウェア・設計計算書)の品質の確保と向上を目的とする。

道路設計および河川構造物設計ソフトウェアについては、アンケート調査結果の整理・分析及びソフトウェア会社への要望等の整理を行った。

(3) 「国交省設計業務におけるダブルチェック」の実施方法等の検討

前年度、改定道示 WG が実施した「国交省設計業務におけるダブルチェックの実施状況についての概略調査」の結果を把握し、その調査結果を基に、詳細な計算確認項目の抽出およびその作業手順について、改定道示 WG と調整・確認を行った。併せて、設計者のツールとしてより有用となるように、既存設計ソフトウェアに対する要望・意見を把握するための「ソフトウェア必要機能の照査リスト」調査票を作成し、改定道示WG・設計ソフトウェアWGの協働でアンケート調査を実施した。本年度は、その調査結果に対して、さらに建設コンサルタントの要望、その要望に対するソフトウェア各社の見解を取りまとめ、今後のソフトウェア改善に向けての資料とした。

2. 次年度の活動について

令和 4 年度は以下の活動を継続的に実施する。

(1) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査(不具合・改善要望・提案)の実施 (構造・道路・河川)

(2) 設計ソフトウェアに関するアンケート調査課題収集と整理・分析

(3) 協会ホームページへアップロードされているエラー事例の保守と新たな事例等の追加

(4) 改定道示 WG への参加

(設計ソフトウェア連絡WGWG長 石井 岳生)